

第1学年国語科学習指導案



平成28年10月28日(金)5校時
武蔵村山市立第三小学校
第1学年2組29名
教諭 菅沼亜紀

研究主題 「人との関わりを大切にし、豊かに表現できる児童の育成」
～グローバル人材育成に向けたオリンピック・パラリンピック教育の充実～

1 単元名 「ほんはともだち むかしばなしが いっぱい」

2 単元の目標

日本や外国の昔話を読んだり、読み聞かせを聞いたりして、昔話を紹介することができる。

3 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
日本や外国の昔話を楽しみ、読みたい本を進んで自分で探して読もうとしている。	いろいろな国の昔話を読み、自分の経験や読書体験と結び付けて、それぞれの昔話を紹介している。	昔話のおもしろさや語り口調、言い回しに親しんでいる。

4 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は、下記に示す小学校学習指導要領国語の「C読むこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導事項に基づいて設定した。

C読むこと

- (1) オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、話し合うこと。
カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

- ア (ア) 昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすること。

今日まで読み継がれている日本や世界の昔話には、弱者が機知を働かせて強者を負かす痛快な話や、無欲で善良な者が結局は幸せになる報恩譚、魔法使いや妖精が登場する奇想天外な話など、楽しくて魅力的な話が数多い。

第1次では、児童に昔話の絵本を読み聞かせして、おもしろい話にたくさん出会わせることで、「本を読むことは楽しい」「自分でも読んでみよう」という自発的な読書意欲の向上を図る。そして、場面絵に注目させ、日本の話であっても現代と時代が違うことや、外国と日本では「着ている服や住んでいる家が違う」など、国によって生活様式や風習が異なることに気付かせる。「どこの国だろう」「この国のことをもっと知りたい」という、いろいろな国の文化に対する興味関心を喚起する。昔話を通して世界にはいろいろな国があり、それぞれの国にそれぞれの文化があるという、1年生の発達段階に応じた異文化理解と異文化を尊重する素地を養っていきたい。

第2次では、自分で友達に紹介したい昔話を決め、どこの国の話か調べ、お話の好きなところなどを

紹介カードにまとめる。

第3次では、紹介カードをもとにまず、グループで紹介し合う。さらにグループで代表を選び、代表者が全体に向けて発表する。友達に紹介する目的をもって、調べまとめたり、相手にお話のおもしろさを伝えるために分かりやすく発表したりする活動を通して、プレゼンテーションの力を養うことができると考える。紹介した昔話の国は班毎の世界地図に貼っていき、視覚的に捉えられるようにする。紹介カードも掲示して活用する。世界地図に表現することで、昔話は日本だけではなく、いろいろな国にあるということを視覚的に分かるようにする。この活動は、シールが貼られている国には「どのような話があるのだろう」と興味を抱いたり、シールがない国には「どのような話があるのかな。」と探す意欲がわいたりすることをねらっている。

(2) 児童について

本学級では、学校図書館の利用法を学び、教室でも学級文庫の本を進んで読むなど、自分で読書できる児童が多い。また、教員や保護者ボランティア、上学年児童による読み聞かせは、いずれも興味深く集中して聞くことができる。既習の「おむすびころりん」や「おおきなかぶ」では、同じ言葉がリズム良く繰り返されるところに面白さを感じ、声を合わせて音読したり、役割をわけて音読したり積極的に学習することができた。ペアや班などで話し合い、発表する活動を少しずつ行ってきた。自分の意見を伝え、相手の意見を聞くことに注意した話し合いや、話型に気を付けて発表することを意識できるようになってきている。また、一斉指導では指示が理解できない児童や、集中が逸れやすい児童が多いので、視覚的に分かりやすく集中が維持しやすい工夫を行う。

国際理解に関しては、1学期に全校で「1班1国旗」の取り組みを行い、生活班で所定の国旗を貼り絵で制作する活動を経験した。「この旗、知っているよ」「形は一緒なのに色が違うね」などの発言が聞かれ、楽しく活動することで、児童の世界の国々への関心は高まってきている。

(3) 教材について

本時では、導入で既習の「おむすびころりん」「おおきなかぶ」の他にもたくさんある昔話を、教科書の挿絵から探す。さらに、「つるのおんがえし」の絵本の読み聞かせを聞いて、日本のくらしの特徴を見付け、探したたくさんある昔話を、日本の昔話と外国の昔話に分類する。分類することで、日本のイメージを明確にもたせることができると考える。

この活動を通して、昔話から日本の歴史や文化に興味をもち、「ほかの昔話も読んでみたい」「日本以外の国ではどうなんだろう」等、学習意欲を喚起したい。

5 研究主題に迫る手だて

(1) 研究仮説

〔仮説1〕オリンピック・パラリンピック教育の視点から授業の充実を図ることが、児童の視野を広げ、グローバルな社会を生きる人材となる素地を養うことに繋がるであろう。

〔仮説2〕児童一人一人が分かる授業を展開するために授業作りに授業のユニバーサルデザイン化の手法を取り入れ、ねらいの達成から逆算した授業作りを行えば、児童の学習意欲や主体的に学ぶ態度、豊かな表現力を養うことができるであろう。

(2) 目指す児童像

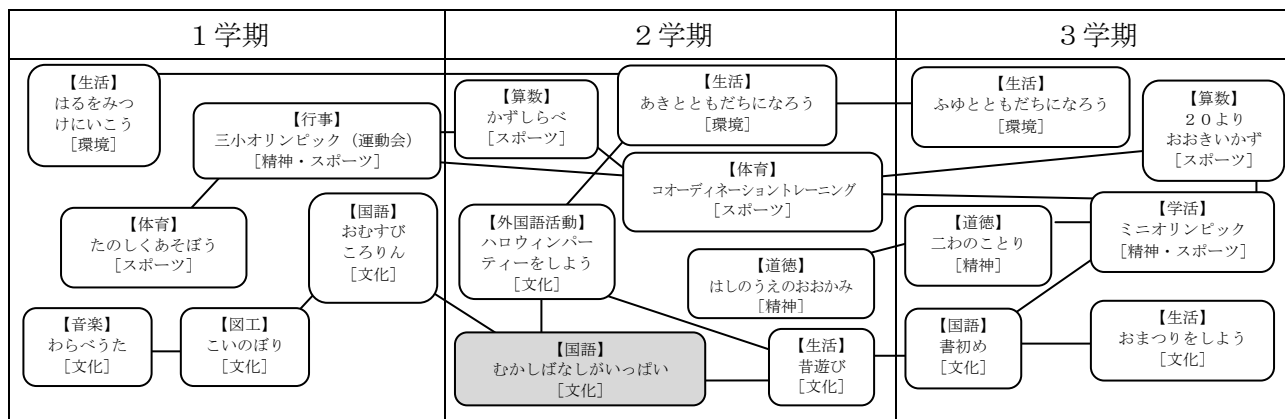
高学年	自他のよさを認め、主体的に相手と関わり合いながら、表現活動を工夫したり、自己の最善を尽くしたりすることができる児童。
中学年	自他のよさを感じ、相手との関わり合いを通して、目標に向かって、主体的に表現できる児童。
低学年	自分のよさを感じ、相手との関わりを大切に、楽しく表現することができる児童。

(3) 本単元におけるオリンピック・パラリンピック教育理念との関連

重点的に育成する五つの資質		4つのテーマ×4つのアクション (本時)
豊かな国際感覚	英語力を身に付ける コミュニケーションを図ろうとする意欲 世界の多様性を受け入れる力	文化×学ぶ

(4) 他単元及び他教科との関連 (他教科・他領域や日常的な指導等との関連)

低学年の目指す児童像「自分のよさを感じ、相手との関わりを大切に、楽しく表現することができる児童」の実現ため、この単元の学習は、下表のような教科横断的なオリンピック・パラリンピック教育の取り組みの一つとする。



1 学期は、図工でのこいのぼりづくりや音楽でのわらべうたなどの活動を通して、日本の伝統文化を学んできた。また、全校活動として取り組んだ「1 班 1 国旗」や音楽の鑑賞を通して、外国のことについて知る機会も多くあった。リオオリンピックが開催されたこともあり、夏休みの宿題である夏休み新聞では「オリンピックをみたよ」の記事に取り組んだ。

2 学期は、リオオリンピックで見た外国への興味関心を高め、理解を深めるために、国語で日本や外国の昔話を学習し、自分で決めた昔話の題名の紹介とどこの国の話なのかを世界地図に表す活動を設定している。そして、生活科で日本の昔遊びを体験したり、外国語活動で外国の行事について学習・体験をしたりすることを通して、日本の伝統文化や国際理解をさらに深めていきたい。そして、昔話で作成した世界地図はオリンピック・パラリンピックの参加国や開催国と結び付けて活用していく。地図を用いた活動を取り入れることで、世界中の人がオリンピック・パラリンピックに参加しているという認識と、自分たちもそのうちの一人であるという自覚をもたせていきたい。

3 学期には、学活でミニオリンピックを設定している。オリンピック・パラリンピック精神に関する学習を中心にオリンピック・パラリンピックをより身近に感じられる活動にしていきたい。

(5) 本時の指導におけるユニバーサルデザインの視点について

本時の授業計画の組み立て（ねらいの達成から逆算）

授業展開	活動の様子	授業のユニバーサルデザイン視点
ねらいの達成 ↓	昔話を、日本の昔話と外国の昔話に仲間分けする。	①どこに着目して仲間分けをしたか、自分の意見を言葉にすることができる。他の子の考えを聞き、さらに自分の考えを発展させる。【共有化】 ②着物や家など具体的な視点を与える。【個人差への対応】
展開後半 ↓	「つるのおんがえし」の絵本から、日本の昔のくらしの様子を見付け発表する。	①絵本を拡大し、児童全員によく見えるようにする。【視覚化による意欲喚起】 ②読み聞かせをした絵本の場面絵で注目すべき箇所を明確にする。【焦点化】
展開前半 ↓	教科書の挿絵から、昔話をたくさん見付ける。	○拡大した挿絵を提示し、発表と確認をしやすくする。 【視覚化による意欲喚起】【共有化】
導入	本時のめあてと、学習内容を正しく捉える。	① 授業前に準備を済ませ、机上进行整理し全員のスタートを揃える。【ルール明確化】 ② 「おむすびころりん」「おおきなかぶ」の場面絵で既習の学習を想起させる。【視覚化による意欲喚起】 ③ 本時のめあてや授業の流れを明示する。【時間の構造化】
個別支援	昔話探しができない児童、昔話の特徴に気付けない児童、仲間分けができない児童への対応。	・図書の時間に読み聞かせしてもらった絵本などを思い出させる。 ・場面絵のどの部分に注目すべきか伝える。(着物、家、いろり、お金、髪型など) ・今のことばとの違いを考えさせる。 ・着物や家の様子、登場人物の名前等に注目させる。

6 学習過程（指導計画）

次	時	学習のねらい	学習活動・予想される児童の考え	評価
1	1 本時	日本の昔話の特徴に気づき、同じ仲間を選ぶ。	教科書の絵を見ながら知っていたり読んでみたいと思ったりする昔話を出し合う。 ・つるのおんがえし 読み聞かせから、絵や話から服装等の違いに気付く。	・昔話に興味をもち、楽しみながら聞くことができる。 【関心・意欲・態度】 ・昔話の語り口調や言い回し、家や着物など現代との違いを感じることができる。【言語】
	2	昔話を読んで、日本と違うところを見つける。	絵本の読み聞かせを聞いて、その国の服装、家屋、食べ物など日本と違うところを見付けて、話し合う。 ・頭にターバン巻いている。	・自分の経験や読書体験と結び付けて昔話を読み、その国の特徴に気付いている。【読む】
2	1	昔話の紹介カードの下書きを書く。	読書活動を通して、自分が紹介したい昔話を選び、どこの国の話なのかを調べ、紹介カードを書く。 ・ヘンゼルとグレーテルは、ドイツの話。 ・おかしの家が出てくるところが好き。	・日本や外国の昔話を楽しみ、紹介したい本を進んで自分で探して読もうとしている。 【関心・意欲・態度】 ・昔話の語り口調や言い回し、家や着物など現代との違いを感じることができる。【言語】

	2	昔話の紹介カードを完成させ、紹介の練習をする。	紹介カードを完成させ、練習をする。 ・わたしが紹介する昔話は、～です。これは、～の国の話です。なぜ、このお話を選んだかという～だからです。	・選んだ昔話の紹介カードを完成させ、紹介カードをもとに紹介の練習している。【読む】
3	1	選んだ昔話を友達に紹介する。	自分で選んだ昔話をグループの友達に紹介し、どこの国の昔話なのか地図に表す。 グループの代表1人が全体の前で紹介する。	・自分の選んだ昔話を友達に紹介している。【読む】

7 本時の学習

(1) 本時の目標 (1 / 5時間扱い)

日本の昔話の特徴に気付き、同じ仲間を選ぶ。

(2) 展開

過程	学習活動と予想される反応 ・予想される反応	●指導上の留意点 ◆個別の配慮 ◎評価【観点】(方法)	☆ユニバーサルデザインの視点
導入 5分	1 本時のめあてを知る。 知っている昔話について聞く。	●既習「おむすびころりん」や「おおきなかぶ」の学習を思い出させる。	スタートを揃える 【ルールの明確化】 場面絵で既習の学習を想起させる 【視覚化による意欲喚起】
	むかしばなしの ひみつに きづこう		めあてや流れを明示【時間の構造化】
展開 30分	2 昔話探しをする。 ・絵から何の昔話か想像する。 ・読み聞かせをしてもらった経験から昔話を思い出す。	●提示した絵から、知っている昔話を想起させる。話し合い(ペア) ●読んでみたいと思う昔話を挙げさせる。 ◆図書時間に読み聞かせしてもらった絵本などを思い出させる。	拡大した挿絵を提示し、発表と確認をしやすくする。【視覚化による意欲喚起】【共有化】
	3 「つるのおんがえし」読み聞かせを聞く。 ・静かに興味をもって聞ける。 ・感じたことや思いを口にだす。 ・似ている昔話を思い返す。	●絵や口調に注目させて読み聞かせる。 ◎昔話に興味をもち楽しみながら聞くことができる。 【関心・意欲・態度】(行動観察)	絵本を拡大し、児童全員によく見えるようにする。【視覚化による意欲喚起】

	<p>4 気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挙手し発言する。 ・場面絵を見直す。 ・友達の発言を聞く。 	<p>●場面絵を準備し、確認することができるようにする。</p> <p>◆場面絵のどの部分に注目すべきか伝える。 (着物、家、いろり、お金、髪型など)</p> <p>◆今のことばとの違いを考えさせる。</p> <p>◎昔話の語り口調や言い回し、家や着物など現代との違いを感じることができる。</p> <p>【言語】 (行動観察)</p>	<p>読み聞かせをした絵本の場面絵で注目すべき箇所を明確にする。 【焦点化】</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>5 絵本の仲間分けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本と外国の昔話にわけをける。 	<p>●「つるのおんがえし」と同じ特徴をも絵本を選ばせる。</p> <p>◆着物や家の様子、登場人物の名前等に着目させる。</p>	<p>学び合い 【共有化】</p> <p>着物や家など着目点を伝える 【個人差への対応】</p>

8 板書計画

<p>にているしゅるいのむかしばなしをあつめよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きいているものがきもの ・いえのドアがよこびらき ・いろりでりょうりをしてる ・しゃべりかたがちがう ・はたおりきがある ・おかねがこばん ・かみがたがちがう 	<p>きづいたこと</p>	<p>★つるのおんがえし うきとかめ ももたろう かちかちやま かさこじぞう うらしまたろう かぐやひめ</p> <p>あかずきん ブレーメンのおんがくたい ジャックとまめのき しらゆきひめ おおきなかぶ ラプンツェル にんぎよひめ さんびきのこぶた</p>	<p>にほんのむかしばなし</p>	<p>ほかのくにのむかしばなし</p>	<p>しっているむかしばなし</p>	<p>めあて むかしばなしの ひみつに きづこう</p>	<p>ほんは ともだち むかしばなしがいつぱい</p>
------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------	---------------------	--------------------	------------------------------	-----------------------------